

長崎県社会保障推進協議会

発行責任者：吉田共生

〒850-0056 長崎市恵美須町2-3-2F 長崎県保険医協会気付

TEL 095-825-3829 / FAX 095-825-3893

Eメール nagasaki-hok@doc-net.or.jp

長崎民医連

国民健康保険アンケート調査実施

長崎県民主医療機関連合会（長崎民医連）では、国保加入者の保険料負担と生活実態をつかむために、患者さんや利用者の方を中心に1月～4月まで180人からのアンケートを集約し、6月7日に長崎県庁内の記者クラブで記者会見に臨みました。

回答者の8割の方が保険料負担に苦しんでおられ、また、窓口一部負担金や利用料の心配から治療を我慢していたり、国保料や医療費の窓口負担のため、食費を切りつめている方が5割もおられる事など、非常に厳しい生活実態を報告しました。

この会見には4人が参加し、平野長崎民医連会長より「国民は社会保障の一環でありながら、かえって生活を脅かしているのが実態」とズバリ指摘。翌日の長崎新聞に会見の様子が紹介されました。

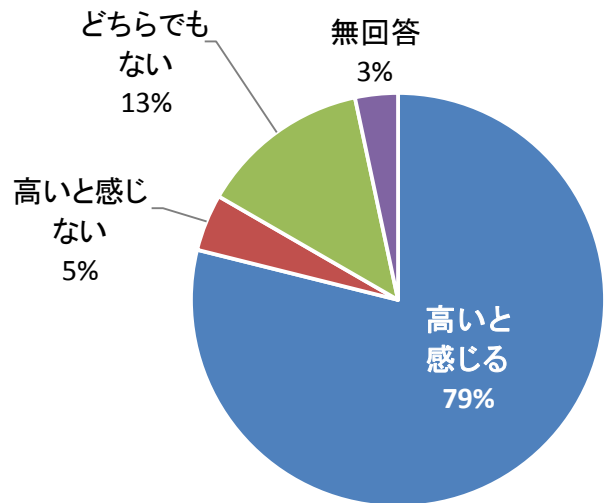


今回の調査を通して、現行の国保制度が住民のいのちと暮らしを脅かしている実態を改めて認識しました。国保は日本の公的医療保険制度の一つでもあり、国の責任で運営される社会保障制度です。所得格差がますます大きくなる中で、国保税の住民負担を軽減し、誰もが安心できる国保制度への改善は、まったなしの課題となっています。自治体それぞれの努力には限界もありますから、国保運営に対する国の果たすべき役割は決定的に大きいものがあります。全国知事会も要望を続けている1兆円規模の国庫支出増の要望を国民的課題にしましょう。所得に応じた、保険料となるよう7月の参議院選挙における焦眉の課題として、国保税引き下げと制度改善を求めるものです。

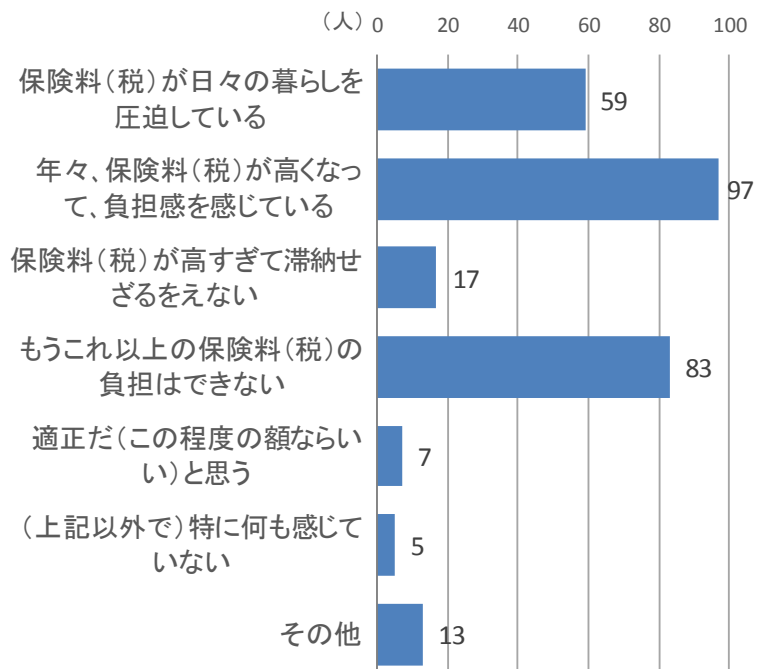
（長崎民医連・前川晃彦記）

《アンケート結果の抜粋》

問 国民健康保険料（税）の負担感についてどのような実感をお持ちですか。



問 国民健康保険の保険料（税）について、普段感じられていることとして当てはまるものすべてに印をつけてください。

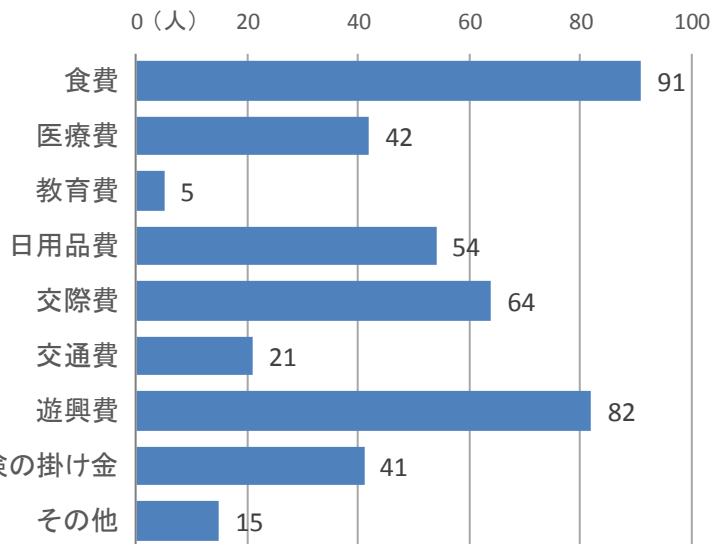


問 医療費の窓口（自己）負担や国保料（税）の支払いの負担で、普段の生活のなかで、支出を切りつめているものがありますか。次の中から当てはまるものすべてに印をつけてください。



その他の15人のうち、4人がコメントを書いておられます。

- 文化費、被服費
- 灯油
- 介護サービス利用
- 各項目とも出費に工夫せねばと思います



自治体キャラバン 事前アンケートを検討

県社保協は、今年も11月に県下市町を訪問して医療、介護、福祉等の改善を求める自治体キャラバンを実施します。

訪問に先立ち、諸制度の現状を把握するために、「医療福祉施策等アンケート」を7月に各自治体に依頼します。



アンケートの内容は国民健康保険、介護保険及び高齢者福祉サービス、子育て支援、障がい者支援、健診事業・成人向け予防接種、年金制度、生活保護の各分野で、去年の項目を基本にして、見直しや追加を行っています。例えば、子育て支援では10月からの保育料無償化での施策や企業内保育所数、「長崎県子どもの生活に関する実態調査」の受け止めや子ども食堂の把握などを尋ねています。

アンケートは7月中旬に回収し、9月中旬にアンケート結果をまとめた冊子を発行して、自治体との懇談（要請）に活用していきます。

また、去年のキャラバン結果にもとづいて長崎県への要請も計画しています。県単位化となって1年が経過した国保と県が初めて実施した「子どもの生活に関する実態調査」の内容で行う予定です。



市民公開学習講演会のご案内

長崎県の 子どもの貧困 について考える

日時 **8月31日(土)**
14:00 ~ 16:30

会場 **勤労福祉会館・4F**
(長崎市桜町9-6)

※無料 (どなたでも参加できます)



内容

- ①『長崎県子どもの生活に関する実態調査』から見えてくるもの
小西 祐馬氏
(長崎大学教育学部准教授)
- ②『学校健診後治療調査』の報告
長崎県保険医協会
- ③教育現場からの報告 (予定)

